【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公開番号】特開2017-173847(P2017-173847A)
【公開日】平成29年9月28日(2017.9.28)
【年通号数】公開・登録公報2017-037
【出願番号】特願2017-106313(P2017-106313)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｃ　7/06　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　7/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｃ　7/04　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　3/14　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　7/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｃ　7/06
Ｇ０２Ｃ　7/00
Ｇ０２Ｃ　7/04
Ｇ０２Ｂ　3/14
Ｇ０２Ｂ　7/04　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月8日(2017.9.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
眼内または眼上に存在させる、眼用装置であって、
前方湾曲光学部と、
前記前方湾曲部と結合した後方湾曲光学部であって、それらの間に空洞を形成する、後方湾曲光学部と、
第１の屈折率を有する流体と、
第２の屈折率を有するガスと、
前記空洞と流体連結した液溜めであって、流体収容に利用可能な前記液溜めの内部容積を変更するように動作可能な材料を含む、液溜めと、
流体収容に利用可能な前記液溜めの前記内部容積を変更するように動作可能な前記材料と連通して位置し、電界を確立するように構成された、第１の電極と、を含み、
前記液溜めの前記内部容積を変更するように動作可能な前記材料の第１の状態において、流体収容に利用可能な前記液溜めの前記内部容積は低減し、前記空洞は前記流体で満たされ、
前記液溜めの前記内部容積を変更するように動作可能な前記材料の第２の状態において、流体収容に利用可能な前記液溜めの前記内部容積は増加し、前記空洞は前記ガスで満たされる、眼用装置。
【請求項２】
流体収容に利用可能な前記液溜めの前記内部容積を変更するように動作可能な材料は、前記電界の影響下で、その材料形状を変化させる、請求項１に記載の眼用装置。
【請求項３】

流体収容に利用可能な前記液溜めの前記内部容積を変更するように動作可能な前記材料は、電気活性ポリマー材料を含む、請求項２に記載の眼用装置。
【請求項４】
前記電気活性ポリマー材料は、ポリフッ化ビニリデン、ポリ（アクリル酸）、ポリピロール、および電極結合カーボンナノチューブを含む、請求項３に記載の眼用装置。
【請求項５】
前記眼用装置は、コンタクトレンズである、請求項４に記載の眼用装置。
【請求項６】
非光学部における液溜めに流体連結した光学部における空洞を有する、眼内または眼上に存在するように構成された、本体と、
前記液溜め内に位置付けられ、電界または電位の少なくとも１つに応答して変形する、材料と、
前記材料と電気的連通をする、電極と、
前記電極と電気的連通をする、電源と、
流体と、を含み、
前記材料の変形が、前記流体を、前記液溜めから前記空洞へと押し出す、眼用装置。
【請求項７】
前記液溜めは、円形である、請求項６に記載の眼用装置。
【請求項８】
前記材料は、電気活性ポリマーである、請求項６に記載の眼用装置。
【請求項９】
前記電気活性ポリマー材料は、ポリフッ化ビニリデン、ポリ（アクリル酸）、ポリピロール、および電極結合カーボンナノチューブを含む、請求項８に記載の眼用装置。
【請求項１０】
前記眼用装置は、コンタクトレンズである、請求項９に記載の眼用装置。